

外務省所管 平成 29 年度補正予算（第 1 号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧

バングラデシュにおける社会安定化支援
(主にコンセプト・ノートに基づく暫定版)

(注意事項)

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第 2 位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 (暫定版)
バングラデシュにおける社会安定化支援	ミャンマーからの避難民の大量流入によるバングラデシュ国内の治安悪化防止のための社会安定化支援	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) [合計 2. 8 億円]	バングラデシュ国内にあるミャンマーからの避難民の公式キャンプにおいて、疫病の発生防止や教育環境改善を目的として、公衆保健サービス及びラーニングセンターの建設を含む教育機会の提供を実施する。
		国連児童基金 (UNICEF) [合計 1 7. 3 億円]	バングラデシュ国内にあるミャンマーからの避難民の公式キャンプの外において、主に脆弱な環境にある女性や子供の保護を目的に、子供や青少年のメンタルケア、新規水源の確保及び既存水源のメンテナンス、栄養指導、教育機会の提供等を実施する。
		国連人口基金 (UNFPA) [合計 3. 1 億円]	バングラデシュ国内のミャンマーからの避難民が流入する地域において、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・サービスへのアクセス向上のため、緊急産科及び新生児ケア、性暴力被害者への臨床ケア、及び、性暴力被害者への心理・社会的カウンセリング等を実施する。
		国境なき医師団 (MSF) [合計 1. 0 億円]	バングラデシュ国内のミャンマーからの避難民が流入する地域において、避難民の死亡率及び罹患率の減少を目的として、基礎的医療、入院治療、救急医療サービスの提供や感染症の監視と拡大予防のための活動を実施する。
		国際移住機関 (IOM) [合計 5. 0 億円]	バングラデシュに流入するミャンマーからの避難民に対して、避難生活の質の向上を目的として、歩道、調理場等の共同施設整備、多目的保健施設整備、森林保全と持続可能なエネルギー利用の促進のための調理方法の指導及び植林、避難民と地域住民との不和を回避するためのコミュニティ啓蒙活動等を実施する。
		国連人道問題調整事務所 (UNOCHA) [合計 0. 9 億円]	ミャンマーからバングラデシュへの避難民の流入は大規模であり、各関係機関が迅速かつ効果的に支援を実施するためには、迅速かつ適切なニーズの把握、関係者間での支援状況の共有、重複を避けるための支援内容の調整が重要となることから、避難民の人道状況や支援情報の把握、主に国連機関間の調整、支援に関する対応計画の改訂、支援ニーズの対外発信等を実施する。